

【資料 1】

令和4年度青森市国民健康保険事業特別会計の決算状況について

1 国民健康保険事業特別会計決算状況

(単位：千円)

款	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度増減額	理由番号
1 国民健康保険税	4,978,788	4,838,978	4,597,909	△ 241,069	①
2 使用料及び手数料	2,607	2,376	2,340	△ 36	
3 国庫支出金	100,204	33,046	1,062	△ 31,984	②
4 県支出金	19,564,453	19,894,359	19,181,634	△ 712,725	③
5 財産収入	13	7	12	5	
6 繰入金	2,572,436	2,646,506	2,672,501	25,995	④
7 繰越金	20,719	68,589	27,552	△ 41,037	⑤
8 諸収入	130,824	134,577	159,338	24,761	⑥
歳入合計	27,370,044	27,618,438	26,642,348	△ 976,090	
1 総務費	427,330	369,646	374,856	5,210	
2 保険給付費	18,838,788	19,324,880	18,622,305	△ 702,575	⑦
3 共同事業拠出金	5	1	1	0	
4 国民健康保険事業費納付金	7,665,303	7,444,528	6,896,845	△ 547,683	⑧
5 保健事業費	286,931	284,258	284,319	61	
6 基金積立金	10,374	34,302	339,423	305,121	⑨
7 諸支出金	72,724	133,271	100,626	△ 32,645	⑩
8 予備費	0	0	0	0	
歳出合計	27,301,455	27,590,886	26,618,375	△ 972,511	
歳入歳出差引額（決算剰余金）	68,589	27,552	23,973	△ 3,579	
単年度収支	58,244	△ 77,582	258,191	335,773	

2 国民健康保険事業財政調整基金の推移

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度増減額	理由番号
前年度末残高	316,656	327,030	290,485	△ 36,545	
積立額	10,374	34,302	339,423	305,121	上記⑨と同じ
取崩額	0	70,847	77,653	6,806	
年度末残高	327,030	290,485	552,255	261,770	

3 令和4年度決算の概況

国民健康保険税は、被保険者数の減少等を背景に減収となったものの、歳出4款の県に支払う国民健康保険事業費納付金が前年度から大幅に減額となったことなどにより、単年度収支は約2億5千万円の黒字となった。

4 対前年度増減額の理由 ※上記1に示した「対前年度増減額」の理由は以下のとおりです。

番号	説明
①	収納率は向上（現年R3：92.08%→R4：92.48%、滞納繰越R3：13.90%→R4：15.02%）したものの、被保険者数が減少（R3平均：58,351人→R4平均：55,785人）したことによる収収の減
②	新型コロナウイルス感染症に伴う国保税減免に対する補助金の予算科目が、国庫支出金から県支出金に変更になったことによる減
③	被保険者数の減少により保険給付費（歳出2款）が減少したことに関連する県交付金の減
④	未就学児に係る均等割保険税の軽減措置開始とそれに伴う保険税賦課システムの改修による一般会計繰入金の増及び歳入歳出の収支均衡を図るために必要と見込まれた基金繰入金の増
⑤	決算剰余金が令和2年度68,589千円から令和3年度27,552千円に減少したことによる減
⑥	令和3年度に概算で支出した診療報酬（保険給付費）の精算額（返還額）の増
⑦	被保険者数の減少（R3平均：58,351人→R4平均：55,785人）による減
⑧	県が事業費納付金の算定の際に、県国保特別会計で生じた剰余金を減算財源として活用したことによる減
⑨	上記⑧等により当初予算で歳入が歳出を上回る金額や決算剰余金の1/2を基金へ積み立てたことによる増
⑩	令和3年度に国・県から概算で交付された交付金等の精算額（償還金）が減少したことによる減